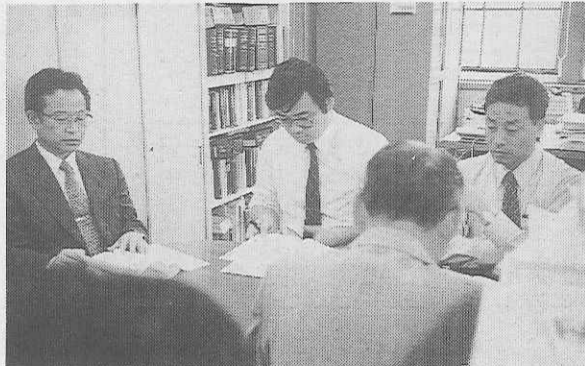


# 修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会  
 発行人 前田 寛  
 編集者 西田 伸一  
 印刷所 千代田区西神田 7-1-1 (丸の内線) 2932  
 東京都千代田区西神田 7-1-1 (丸の内線) 2426-3633  
 東京 8 (262) 2426-3633  
 電話 2 (東京)  
 電報 6

## 修学旅行費・校外活動費 平成3年度の補助金増額を

### 全修協・三地区修旅連が 文部省へ陳情



右から遠山課長、倉持係長、布目委員長

修学旅行は、学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行う学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常套の改善に努力しつつ教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。

(財団法人 全国修学旅行研究協会の趣意書から)

#### 平成2年度予算が成立 修学旅行費等補助金も決定

平成2年度予算は、六月七日の参議院本会議で否決、衆議院議院協議会で協議不調となつたが、憲法六〇条の「衆議院を合算すると4・6%の上昇が見込まれる。また、児童生徒の漸減と四十人学級の実施により、宿泊料、バス代の人当たり単価が上昇を余儀なくされる状況についても説明し、このような事情を十分配慮され、別表に示す金額の実現に尽力されたいと要請した。

平成3年度修学旅行費補助金要望額			
修学旅行費 (要保護・準要保護児童生徒対象)			
校種	今年度補助金額	来年度要望額	
小学校	14,100円	14,500円	
中学校	39,300円	43,300円	
校外活動費 (準要保護児童生徒対象)			
種別	校種	今年度補助金額	来年度要望額
宿泊を伴わない	小学校	820円	1,050円
	中学校	1,160円	2,100円
宿泊を伴う	小学校	2,270円	2,700円
	中学校	3,420円	3,700円

(上記金額の2分の1が国から補助され、残額については、地方自治体が負担する)

この陳情は、毎年各省庁の千問(中学校校長)・佐藤時昭次年度予算の概算要求期に合運営副委員長(松戸市立栗ヶわけて行つてゐるもので、国沢中学校長)の五名、文部省から要保護・準要保護家庭及び側は教育助成局遠山耕平財務官及び地校の児童生徒に支給される修学旅行費等に対する補助金の増額を求めたものである。

陳情側は(財)全修協から前田事務局長・中島事務局次長・糸賀修学旅行部長、三地区修旅連を代表して関東地区公立中学校の修学旅行費消費税率の特別措置の期限が終了して中学校修学旅行委員会から布目雅之運営委員長(越谷市立課税対象となるので、その分

バスは学級の児童生徒数に合わせて造られてゐるものではない。あくまで一学級バス一台を主張すれば、経費の大幅な値上げは避けられないものとなる。

また、レジャー時代といわれ、旅館は大規模化、テラックス化と変貌しつつある。旅館側にとつてみれば、一校一館、後の推移も十分考慮すべきであらう。

全修協は国庫補助の増額に長い間取り組むとともに、全員参加の修学旅行を指して、経済性の適正化を主張し続けてきた。本年度の国庫補助は、小学校一校一館は既に過去のものとなつてゐる。西宮の深津中が、同宿校と実行委員同士の交流会を行い、成果を挙げた例が報告されたが、今後はこうした積極的な取り組みが工夫されてよいのではないかと、バスにおいても、学級単位にとまらず、その輪を広げることによる教育的意義に思いを致す必要がある。旅館も集中時に料金が高いことは、一般旅行のみに限つたものではない。その意味で先行の多様化とともに、時期的な集中も今後考えていかなければならない課題とな

## 時言

### 考えさせられる修学旅行費増加傾向

編集委員 北條直樹

全修協では、本年度も修学旅行実施基準を調査し、概要をまとめた。日数、方面、引率教員数等、昨年比べて変化は少ないが、問題は年々増え続ける経費である。

各都道府県や指定都市では、基準金額を少しでも抑制しようと、特に金額を示さない府県も、「保護者の負担軽減を図る指導」を行っている。

旅費の中では、交通費や宿泊費が最も大きな部分を占めるが、小・中学校は修学旅行を計画するに当たって、まず時期は春、旅館は一校一館、バスは一学級一台を基本におく。その結果、修学旅行は春に集中し、一校一館やバスの確保も難しい状況が起り、経費が高騰する一因ともなつてゐる。

学校がそれらの条件を主張する第一の理由は、一校一館によって、生徒指導が行いやすいことであらう。同宿によるトラブルは、引率教員にとつて常に気になる問題である。第二に、学校生活の基本的な単位が学級であることに立脚するとき、修学旅行という平素と異なる環境にあって、バス一学級一台による人間の融合は、教育的な効果が極めて大きいと言える。更に、第三に春の実施は、日長く、活動に時間的な余裕も生まれるし、二学期の学校行事集中からの回避もでき、何よりも受験期には間があるという利点がある。

しかしながら、今後予想される次のような状況を考慮しないと、経費はますます増大する恐れがある。その一つは、児童生徒数の漸減と、四十人学級への移行である。

バスは学級の児童生徒数に合わせて造られてゐるものではない。あくまで一学級バス一台を主張すれば、経費の大幅な値上げは避けられないものとなる。

また、レジャー時代といわれ、旅館は大規模化、テラックス化と変貌しつつある。旅館側にとつてみれば、一校一館、後の推移も十分考慮すべきであらう。

全修協は国庫補助の増額に長い間取り組むとともに、全員参加の修学旅行を指して、経済性の適正化を主張し続けてきた。本年度の国庫補助は、小学校一校一館は既に過去のものとなつてゐる。西宮の深津中が、同宿校と実行委員同士の交流会を行い、成果を挙げた例が報告されたが、今後はこうした積極的な取り組みが工夫されてよいのではないかと、バスにおいても、学級単位にとまらず、その輪を広げることによる教育的意義に思いを致す必要がある。旅館も集中時に料金が高いことは、一般旅行のみに限つたものではない。その意味で先行の多様化とともに、時期的な集中も今後考えていかなければならない課題とな

### 風紋

「雨がふります。雨がふります。遊びにゆきたし傘はなし……」

(北原白秋) 梅雨の季節。修学旅行には有難くない日が続く。何といつても、旅では天候が大きな要素となる。雨はふるふる。城ヶ島の磯に……」

白秋を始め、雨のもつ深い情趣を詠いあげる詩人も多い。ちよつと若葉から緑が濃くなる時期、雨に濡れたあの樹々は、みずみずしく、美しい。慈雨という言葉もある。ギリシャの哲学者の言を借りるまでもなく、水は、人間を始め、生物すべてにとって、いのちの源泉でもある。稲作国家の我が国では、昔から、田植えの時期に雨が降らないと、鎮守の森で火を焚き、村中をあげて雨乞いをした。しかし酸性雨は世界的に深刻な問題だ。森林が枯れたり、湖沼の生物が死滅したり、歴史的建造物が溶け出すような被害が起つてゐる。こうなると、慈雨どころではなくなる。今のうち何と手を打たないと大変なことになる。カアサン、ボクノヨカシマシヨカ。キミキミ、コノカササシタマエ……。白秋は「アムフリ」の中で、母子の愛情とともに友情を描いた。修学旅行では、雨が降っても友との対話がある。雨という悪条件の時こそ心の交流が大切だ。近畿地区公立中学校の修学旅行の行先のうち、九州方面では長崎が最も多い。「雨のオランダ坂」も風情があるが、「長崎は今日も雨だった」ではやはり残念だ。せめて、「ピッチャー、チャップチャップ、ランラン」(白秋)と、友と楽しめばよかった。



全修協理事  
 岩手県支部長  
 熊谷碩二氏



全修協理事  
 愛知県支部長  
 加藤修氏

財団法人全国修学旅行研究協会の岩手県支部長に、六月一日付で熊谷碩二氏が就任した。

熊谷氏は昭和二十三年三月岩手師範学校本科卒業、岩手県内の公立小・中学校教諭、岩手県立中学校生活協同組合専務理事、副理事長を歴任し、現職。

財団法人全国修学旅行研究協会の愛知県支部長に、六月一日付で加藤修氏が就任した。

加藤氏は昭和四十四年三月愛知教育大学卒業、名古屋市内立中学校教諭を歴任し、本年度から愛知県教育組合執行委員長。

「修学旅行に関する研究論文」募集締切り迫る

(財)日動火災教育振興基金主催、文部省・財)全修協後援の「修学旅行に関する研究論文」の募集は、六月末日に締切らる。前号でお知らせしたと

信頼される旅づくり

修学旅行は、プランニングから実施まで、安全で意義深いものでなければなりません。近畿日本ツーリストでは、修学旅行に必要な事項をキメ細かく網羅した全国地域別「企画書シリーズ」を作成し、ご活用いただいております。さらに、北海道から沖縄まで、修学旅行・ビデオテープ「学習の旅シリーズ」もご用意。学校の教育方針に沿いながらも、生徒ひとりひとりの心に輝く思い出づくりのため、国内・海外のネットワークを駆使して、細心の努力をいたします。

# ツーリストの修学旅行。

心にあざやかな思い出

近畿日本ツーリスト

本社 〒101 東京都千代田区神田永町19-2  
 支店/国内250店(登録)/海外15店 ©運輸大臣登録一般旅行業第20号

### 会長に篠野昌治氏

#### 近畿地区公立中学校修旅委

#### 総会開く

平成二年度近畿地区公立中学校修学旅行委員会総会が、五月三十日大阪で開催された。土居克己会長は「旅は師であり、詩であり、志である」といわれ、(財)全国修学旅行研究協会山本種一理事長はあいさつの中で「たかが修学旅行…されど修学旅行」という認識を深めると、大変大事なことだと思いが、そしてその原動力は愛である」と述べた。写真。



全修協大阪局長から近畿地区公立中学校修学旅行委員会沿革についての説明があり、各委員にその歴史を再認識してもらい、会務報告と決算報告が承認された。

次いで平成二年度の事業計画と方針について同協会大阪事務局北條直樹修学旅行部長から左記の項目についての説明があり、これを協議の後、本年度予算案を決定した。

(1)修旅の改善・向上のための活動

○近畿地区公立中学校修学旅行研究大会

○全修協修学旅行セミナー

○現地研修

○計画輸送の充実

(2)活動基盤の強化

(3)活動活動の実施

(4)調査活動の実施

修学旅行安全対策実態調査

続いて平成二年度役員選出

に入り、次のとおり決定された。(各中学校長、敬称略)

会長 篠野昌治(奈良・桜井)

副会長 吉田素彦(大阪・深井中央) 高橋喜吉(滋賀・彦根)

会計 黒沢文雄(兵庫・潮見)

監査 原英雄(京都・長岡京三) 北口了(和歌山・箕島)

運営委員 土居克己(兵庫・大社) 谷口武志(大阪・河内)

長野東(山本種一) 京都・久御山 辻光昭(奈良・曾爾)

大橋滋(滋賀・日吉) 坂口全彦(和歌山・加太)

委員 西野義(兵庫・長坂) 松尾弘己(兵庫・飾磨西) 辻本登作(大阪・山田東) 古屋敷侃(大阪・池田) 岡本弘司(大阪・四條) 牧野富彌(大阪・太子)

顧問 山本種一(財全修協) 参与 大友恭(同)

事務局 北條直樹(財全修協) 曾田震五(同)

特別委員 佐々木達三、勝見一寛

(なお委員 京都府三名、兵庫一名未定)

### 公立学校の平均的修学旅行の姿は…

#### 今年の基準調査から

(財)全国修学旅行研究協会では、毎年全国都道府県・政令指定都市に於いて、修学旅行の実施基準の概要を調査している。本年度のまとめから、公立学校の平均像を出すと次のようになる。

小学校 泊二日、費用は規定せず、六年生が、県内・隣接県へ、児童三十人に一人及び管理職・養護教諭の引率により、車船中泊は原則として避ける。

中学校 泊三日又は泊四日、費用は規定せず、三年生が、片道約五百キロの地域へ、生徒三十人に一人及び管理職・養護教諭の引率により、車船中泊は原則として避ける。

高等学校 泊五日又は泊六日、費用は保護者の負担を考慮し、二年生又は三年生が、片道約一千キロの地域へ、生徒三十人に一人及び管理職の引率により、車船中泊を認める。

▽主な項目について

旅行費用 金額を明示している率はむしろ少数で、特別には規定せず「保護者の負担軽減を図る指導」を行っているケースが多く見受けられる。金額を明示しているところでは最低額と最高額を拾うと、小学校では一万円(山形

県から二万一千円(名古屋市中、中学校では三万一千七百五十円(福岡市)から四万八千円(川崎市、高校では四万五千円(名古屋市)から九万四千円(川崎市)となっている。地域差があるとはいえず、かなりの格差があることは否定できない。また、金額を明示していないところでは、更に高額な費用で実施している場合が多い。

航空機利用 時間短縮、値下げによるJRよりも経済的な区間の出現などの理由で、九州を始め西日本から徐々に増加の傾向にあるが、大量輸送と安全性では鉄道に優るものはない。今後公立学校の航空機利用を認める府県が続出すれば、かえって混乱を招くことにもなる。

### 第一回組織運営委員会

#### 六月五日開く(財全修協)

(財)全国修学旅行研究協会 修学旅行委員会の現況、修学旅行新聞による広報活動の状況等について、詳細な資料による説明があった。協議に入った。

各委員から活発な意見が出されたが、教育現場、現場教師と直接的に緊密に結びつくような活動を広げていくことが重要であり、そのための方策として、東北及び九州地区に修学旅行委員会を組織化することが決定され、それぞれ地域の教育界の情勢を的確に把握しながら、具体策を進めていくこととなった。

組織運営委員会は次のとおり(敬称略)。

常務理事 鈴木力、理事 魚谷時太郎、理事 野尻高純、本部長 研修旅行の最近六か年間の現況、修学旅行部の活動と

### 総会提出議案を審議

#### 関東地区公立中修旅委

関東地区公立中学校修学旅行委員会(木村 会長・前茂 原市立茂原中学校長)は、本年度の第一回研究協議会を五月十六日、東京文化会館で開催し、六月に開催される総会への提出議案について事前審議を行った。

議事に先立ち、参与の財全修協前田事務局長は、全修協創立のいきさつ、関係委員の選出と、事業計画案及び予算案について審議決定した。

学が研究所付属病院で死去、六十三歳。自宅は七尾市本府中町ワ部二一七六。葬儀は同二十八日、七尾市本府中町集会所で盛大に営まれた。喪主は妻きよさん。

石川県学校生活協同組合理事長、(財)石川県教育経済会理事長などの要職を務め、平成元年七月一日から(財)全修協石川県支部長。

謹んで御冥福を祈ります。



杉森 外喜雄氏(すきもり としお) (財)全国修学旅行研究協会石川県支部長。五月二十五日、胃がんのため金沢大

KANSAI KISEN

大阪・神戸 直行便 別府さんふらわあ 12,000円

大阪南港 19.00発 神戸中突堤 8.20着 20.30発 別府 8.00着 6.50着 19.20発

信頼の船旅

関西汽船

営業本部営業課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06)344-7031

東京支社 東京都中央区八重洲1-4-14 ☎(03)274-4273

及び各支店、営業所、旅行代理店へ

修学旅行に 貸切専用外航純客船 さんふらわあ7も ご利用ください。

「動物たちのあったカラ・ン・ド」

●営業受付時間  
9:00~17:00 (3月16日~11月15日)  
9:30~16:00 (11月16日~3月15日)

●修学旅行料金 (消費税含む)  
高校生 1,030円 中学生 721円  
小学生 618円 ガイドラジオ  
バス1台につき1,030円

別府あじむ草原 博物館相当施設

AFRICAN SAFARI

〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑  
☎(0978) 48-2331(代)  
FAX (0978) 48-2330

とびだせ自然へ 緑の箱根へ

箱根高原ホテル

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164  
電話0460-4-8595(代表)

レクチャーホール

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい 修学旅行の一夜をお過ごし下さい。

そのほか  
冬期はスキー教室  
夏期は林間学校

奥日光高原ホテル

〒321-16 日光市湯元2549-6  
(TEL) 0288-62-2121(代表)

きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる(ホテルK棟)をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジF棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内  
●エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学  
●モトビア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱  
●潮干狩り ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは  
鈴鹿サーキット

修学旅行課 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7932 ☎(0593) 78-1111